



# 準備


## デジタルスチルカメラの準備

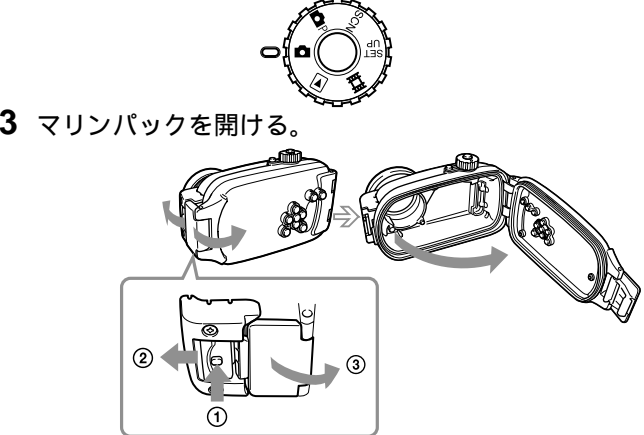
デジタルスチルカメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所でのマリンバックの開閉は、マリンバック前部のくもりの原因となります。

デジタルスチルカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 1 デジタルスチルカメラのハンドストラップをはずす。
  - 2 バッテリーを取り付ける。  
十分に充電してあるバッテリーを取り付けてください。
  - 3 “メモリースティック”を入れる。
  - 4 デジタルスチルカメラの電源を入れる。
  - 5 デジタルスチルカメラの液晶画面をONにする。
  - 6 デジタルスチルカメラの各設定をオートにする。
  - 7 デジタルスチルカメラのAFイルミネーターをOFFにする。  
AFイルミネーターは使用できません。
- デジタルスチルカメラのレンズや液晶画面が汚れていないことを確認してください。

## デジタルスチルカメラをマリンバックに取り付ける

- 1 デジタルスチルカメラの電源を切る。
- 2 デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「」にする。



ロック解除ボタンを押しながら①、バックルを矢印②の方向にスライドさせて、③の方向にはずし、マリンバックのボディーを開く。

ご注意  
スぺーサーは、マリンバックを保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

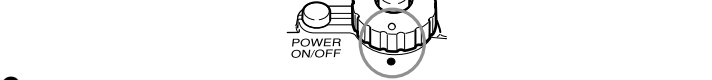
### 4 マリンバックの準備をする。

別冊のリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。リングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

- ① 付属のリンググリーマーを使って、リングを取りはずす。
- ② リングにグリスを塗る。  
リング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに  
取り除き、リングに薄く均一にグリスを塗ります。
- ③ 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

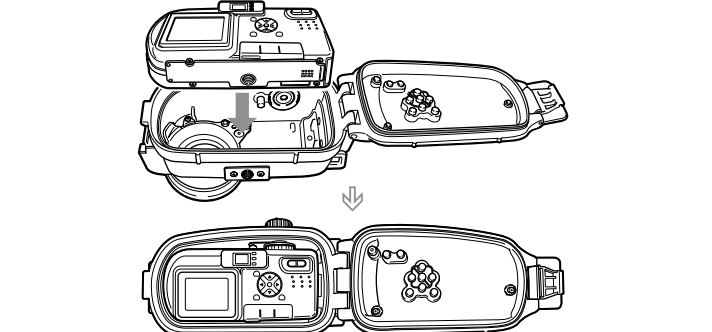
ご注意  
・防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗ったりしないでください。  
・砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体にキズをつけた  
り、浸水の原因となることがあります。

### 5 マリンバックのモードダイヤルの位置をイラストのように セットにする。



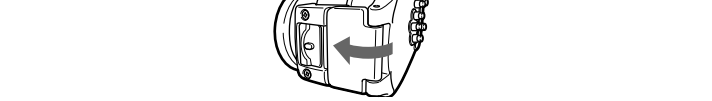
### 6 マリンバックに取り付ける。

デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ずPOWER  
スイッチを「OFF」にしてください。「ON」のままではデジタル  
スチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



デジタルスチルカメラが正しく入っているか確認してください。

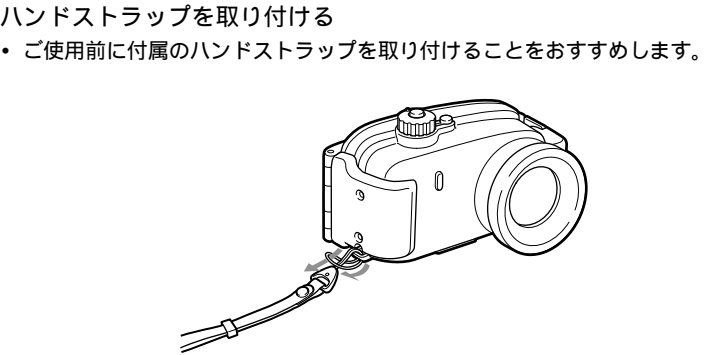
- 7 ボディーを閉じて、バックルを締める。  
ボディーをしっかり押さえ、バックルがカチッとロックされるまで  
押してください。



②の状態ではバックルを締めると引っかかり、ロックできません。

ご注意  
マリンバックのボディーを閉じるとき、Oリングの表面とマリンバックの  
溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。  
上記のような異物を挟み込むと、浸水の原因となることがあります。

ハンドストラップを取り付ける  
・ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。



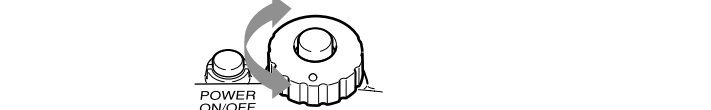
# マリンバックを使う

## 撮影する

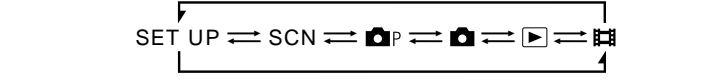
### 1 POWERスイッチを「ON」にする。



モードダイヤルが正常に動くことを確認してください。






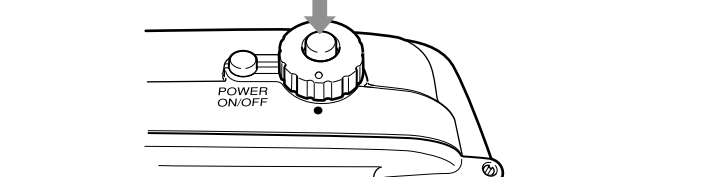
モードダイヤルを回すと、次の順にモードが切り換わります。



各モードについては液晶画面で確認してください。

### 2 モードダイヤルを希望のモードに合わせ、シャッター ボタンを押す。

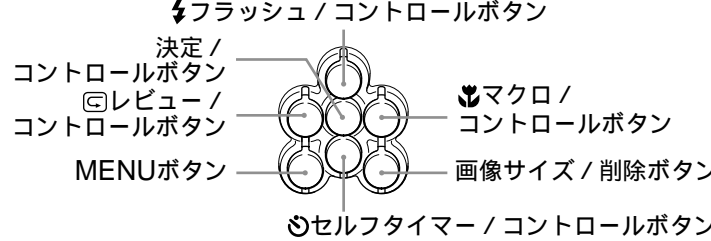
液晶画面を見ながら撮影できます。  
静止画を撮影するとき...デジタルスチルカメラのモードダイヤルを  
「」または「P」にする。  
動画を撮影するとき...デジタルスチルカメラのモードダイヤルを  
「」にする。  
場面に合わせて撮影をするとき...デジタルスチルカメラのモードダイ  
ヤルを「SCN」にし、コントロールボタンで設定する。  
動画撮影時、音声を記録することはできません。



詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意  
デジタルスチルカメラを収納した状態で、モードダイヤルをむやみに回さ  
ないでください。故障の原因になります。  
水中では水の屈折率が大きいため、陸上より約1/4距離が近くに見えます。  
したがって水中撮影でフォーカスプリセットを使用する場合、設定した距  
離と被写体までの実際の距離は異なります。

さまざまな機能を使う / 設定をする  
マリンバックに収納したデジタルスチルカメラのさまざまな機能を使うこ  
とができます。



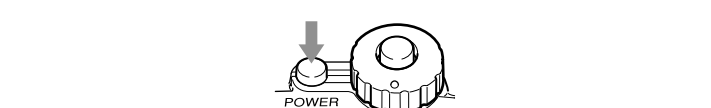
ズームする  
ズームボタンを押します。  
W側を押し続けると、  
徐々に広角(Wide)に  
なります。  
T側を押し続けると、  
徐々に望遠(Telephoto)  
になります。

ご注意  
・ファインダーによる撮影はできません。  
・撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバ  
ッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、POWERスイッチ  
を「ON」にしてください。

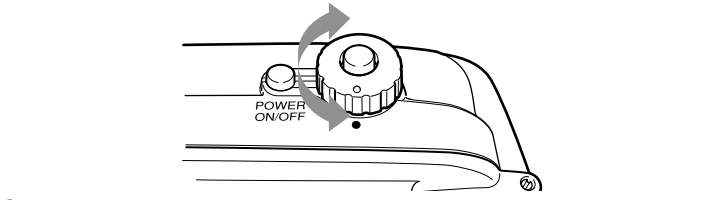
## コントロールボタンを使って画像を見る

デジタルスチルカメラのコントロールボタンを使って、液晶画面で撮影し  
た画像を見ることができます。このとき音声は聞こえません。

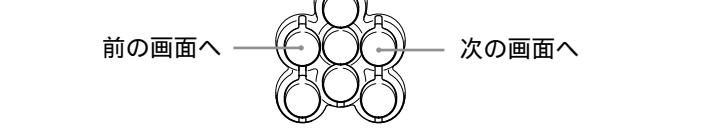
### 1 POWERスイッチを「ON」にする。



### 2 モードダイヤルを「」にする。



### 3 コントロールボタンを操作して、再生したい画像を 選ぶ。

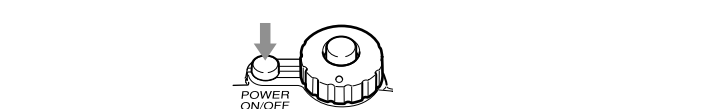


詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧  
ください。

## デジタルスチルカメラを取りはずす

### 1 POWERスイッチを「OFF」にする。

デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ずPOWERス  
イッチを「OFF」にしてください。「ON」のままではデジタル  
スチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



### 2 マリンバックのモードダイヤルの位置をイラストのよう にセットする。



### 3 ロック解除ボタンを押しながらバックルをはずし、 マリンバックのボディーを開く。

### 4 デジタルスチルカメラを取り出す。

長時間ご使用になったときは、デジタルスチルカメラが熱くなりま  
す。電源を切ってからしばらく放置したあとに、デジタルスチル  
カメラを取り出してください。

デジタルスチルカメラを取り出すとき、落とさないようにご注意  
ください。

ご注意  
マリンバックを開けるときは、マリンバックを水道水または真水で洗い、  
柔らかい布で水滴をふき取ってください。このとき、体や毛髪、ウエット  
スーツの袖口などからの水滴がデジタルスチルカメラにかからないよう  
にご注意ください。

## ダイビングの前に

水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏  
れがないか確認してから潜水を始めてください。  
デジタルスチルカメラは、ダイビングの前にあらかじめマリンバックに取  
り付け、船上や海岸などでのマリンバックの開閉は、できるだけ避けてく  
ださい。デジタルスチルカメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少  
ないところで行ってください。  
ご使用前に、マリンバックの前後のボディーの間に異物のはさみ、ゴミが  
ないかを確認してください。  
水中で撮影すると、被写体の色が青みがかって見えることがあります。こ  
のような場合は、色の補正に別売りのカラーフィルターキットVF-IMP5K  
(別売り)をお使いになることをおすすめします。

## 撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間  
です。  
太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、水中ビデオライト  
HVL-ML20M(別売り)をお使いください。

## 各部の名前

